

国語で新聞投書検索 生徒の情報活用能力を育成

仙台・五橋中で実践

十一月七日、仙台市立五橋中学校で、新聞データベースを活用した授業が行われた。二年生の国語「意見を書こう」という単元で、新聞の投書をもとに自分の立場をはっきりさせた反論文を書くという内容である。



新聞データベース検索方法の説明を聞く生徒

及川教諭は導入段階で、新聞の投書欄に掲載されたベットのに関する特集を紹介し、紙面上で生活に密着した議論が展開

されている実例を示した。次に、新聞データベースで検索した中・高校生六人の投書を提示し、反論するためにその中の一つを選択させた。

生徒は、自分が選んだ投書について、書き手の主張と根拠、自分の反論の根拠をワークシートに記入した。その後一人一台のパソコンを使って実際に自分の選んだ話題に関する投書を検索した。日ごろインターネットを活用している生徒たちは、適切な検索語を手際よく入力し、新聞データベースから目的の情報を効率よく手軽に収集していた。

後日、検索した投書をもとに、自分の立場や根拠を明確にした上で意見文としてまとめ、ワープロソフトを使って清書した。

及川教諭は、新聞データベース活用のポイントとして、「事前の教材研究の段階から、提示資料をよく吟味して選択できること」と、「投書記事の意見に関連する記事を検索し、参考にできること」の二点を挙げた。

ねらい 教科・領域の目標を達成し、児童生徒の情報活用の実践力を育成するために、新聞データベースのより効果的な活用の可能性を探る。

テーマ設定の理由

新聞紙面には世の中のような様々な情報が日々掲載され、「生きた教材」として私たちの知の欲求を満たし、生活に役立っている。確かな情報源の一つとして活字メディアを代表する新聞のデータベースを有効に活用することにより、教科・領域の目標を達成するとともに、児童生徒の情報活用能力の向上を図りたいと考え、本テーマを設定した。

アンケート調査の実施と考察

本部会では、小学校六年と中学校二年の抽出校の児童生徒及び教師対象に、情報活用に関するアンケート調査を実施した。その結果、児童生徒は調べ学習で、教師は教材研究でインターネットを主要な情報源としている実態が明らかになった。また、児童生徒のほとんどは、インターネットで知りたい情報が手に入ると考えている。

確かに、ネット上にはだれもが気軽に情報発信できるため、

膨大な情報が存在する。しかし、その中には不確かや無責任な情報や数年前の古い情報なども数多い。

そこで、収集した情報を安易にうのみにせず、新聞データベースなどの確かな情報源から情報収集し、複数の情報を比較検討して自分の頭で主体的かつ批判的に思考・判断できる力を養うことが大切になってくると考える。

成果

- ・地域性に富み、信頼の置ける良質の資料を提示できた。
- ・生徒に身近な中高生の投書を取り上げ、興味・関心を高めた。
- ・必要に応じて効率よく情報を検索し、学習に役立てることができた。

課題

- ・今年度は中学校国語で実践授業を行ったが、今後は小学校や他教科・領域でのより効果的な新聞データベース活用の実践事例を増やしていく。
- ・児童生徒に身に付けさせたい情報検索のスキルを明らかにしていく。

調べ学習に 教材作成に 新聞データベースに アクセスしよう!



新聞を一つ一つ調べたらものすごく時間がかかることを、コンピュータですぐにやってしまうのでびっくり。

新聞の切り抜きはめんどうだけど、データベースを使えばとても楽。これなら調べ学習などでも使えるし、本で調べるよりいろいろなことを知ることができるよ。

記事が数秒で出てくるのはとても便利。いろいろな情報がたくさん出てくる。日付の順に表示されるのもいいね。



- 新聞データベースの特長 -
- 豊富な情報量 ...朝刊1日分の情報量は新書1冊分に等しい
- 情報内容の確かさ ...新聞社が確認した情報である
- 情報の安全性 ...有害情報やノイズ(不要な情報)が少ない
- 過去にさかのぼり時系列で検索可能 ...切り抜きの苦勞解消
- 身近な地域情報が豊富 ...県内各地で新聞記者が取材
- 教科書にはないタイムリーな情報を授業に生かせる

詳しくは部会 Web ページをご覧ください。 <http://www.sendai-c.ed.jp/~sinbun17/>

【部会テーマ】 情報活用の実践力を高める学習指導の一試み

- 新聞データベースの活用を通して -

が気軽に情報発信できるため、

新聞データベースは有料で、新聞社との契約が必要です。本部会では、河北新報社・読売新聞社・朝日新聞社に協力していただきました。新聞データベースのサービスを行っている新聞社は、他にもたくさんあります。



河北新報社「KD(カーデー)」
地域情報が豊富で、イメージデータや用語の解説、夕刊速報等がある。
(1991年8月～、約140万件)
(検索期間限定のお試し版がある)



読売新聞社「スクールヨミダス」
英字紙「THE DAILY YOMIURI」記事も収録。縮刷版CD-ROMもある。
(1986年9月～、約380万件)
(1か月の無料トライアルがある)



朝日新聞社「朝日けんさくくん」
最新の天声人語や社説が掲載され、AERA、週刊朝日の記事も収録。
(1984年8月～、約480万件)
(1か月の無料モニターが可能)